

地域を支える  
プロになる

看護職員募集案内

Become a professional  
who supports the community



京都市立病院



「看護のプロフェッショナル」として

わたしたちが地域にできることを

京都市立病院が育てるのは「プロフェッショナル」としての自覚と技術。

看護師としての5年後・10年後のキャリアを見据え、

自分の可能性をどこまでも伸ばしていくける環境があります。

### [ 認定看護師メッセージ ]

治療のゴールに向かって患者さんに寄り添い、やりとげたときに味わう達成感



がん放射線療法  
看護認定看護師  
(1994年 入職)

枚岡 かおる

放射線治療を受ける患者さんは不安や副作用を抱えています。治療を患者さん一人で乗り切るのは大変ですが、治療を最後まで終えられるサポートが必要です。そんな患者さんに認定看護師として寄り添い、エビデンスに基づいてケアを行うのが私の役割です。患者さんを支え、共に治療のゴールを迎えたときのやりがいはとても大きいです。

### [ 専門看護師メッセージ ]

看護師の仕事に価値を見いだしていく経験を、私たちと一緒に経験してみませんか



がん看護専門看護師  
(2015年 入職)

松村 優子

人間は複雑です。それぞれの生き方、価値観、人生観や、困難な出来事への対処の仕方も異なります。看護師は悩みや恐れ、期待や困難を抱えるがん患者さんのニーズを少しでも満たすために、「観る」力のバランスを携えて、ケアを通して向き合っています。

# 患者さんのLIFEを支える看護を実践しています

京都市立病院では入院前から退院後の生活を見据え、段階的に看護を提供しています。

入院前から地域での患者さんの生活を知り、多職種と専門性を発揮しながら、治療に専念できる環境を整え、退院前、退院後訪問を通して地域での暮らしも支えます。

## 入院前支援

入院前に…  
入退院支援ナースが治療検査についての説明を行い、効果的に患者さん自身が治療参画できることを支えます。



## 入院前から退院後まで一貫したケアを実施

入院中の患者さんを365日サポート。入院中の患者さんの経験に耳を傾け、多職種と共に患者経験価値を高めるチーム医療を実践しています。



## 退院前・退院後支援

看護師が患者さん宅へ退院前・退院後訪問

退院後の生活の場でより生活しやすい方法を患者さん、ご家族、地域スタッフと共に考え支えます。



入院

病棟での手術・治療・療養

退院

地域と連携したケア

### Acute Pain Service Team ナース

術後の疼痛緩和を図り、早期離床、術後回復の促進を目指します。



### がん放射線療法看護認定看護師

手術のあと、放射線治療を受ける患者さんが生活しながら治療を続けられるよう、副作用や体調に関して真摯に耳を傾け、ケアします。



入院前・入院中・退院後も多職種チームによる一貫した支援を実施

看護専門外来

ストーマ外来

がん看護外来

造血幹細胞移植後フォローアップ外来

乳がん看護外来

糖尿病予防外来

フットケア外来

腹膜透析外来

## 〔新人看護師メッセージ〕

患者さんの思いに耳を傾け、第一に考える…  
そんな看護師を目指して

写真左：消化器内科病棟（2020年入職） 福井 萌花

まだ仕事をこなすのが精一杯ですが、技術的なことはもちろん、患者さんへの接し方など、先輩から多くのことを学んでいます。祖父ががんを患ったとき、退院は厳しい状況でしたが、担当看護師さんの尽力で、在宅で治療するという祖父の希望は叶いました。そんなふうに、患者さんの望みを第一に考え行動できる看護師を目指しています。



## 〔先輩看護師メッセージ〕

一番辛い1年目を乗り越えたとき、  
看護師としての自信が芽生えます

写真右：消化器内科病棟（2012年入職） 上野 方子

入職1年目は一番、大変で辛いときです。しかしそれを乗り越えたときに、自信が生まれます。後輩の福井さんはとても一生懸命で積極的。彼女とともに病棟での問題に挑み、ともに解決していくことは、私自身の学び直しになっています。患者さんにとって何が大切か、それを考えて行動できる看護師に、後輩たちを育てていきたいと思います。

「プロフェッショナルとして成長したい」

そんな思いに応える、教育体制があります

患者さんにとって何が一番大切なこと。

そしてそれを自律的に実行できること。

それが看護師としての第一歩です。



# 一歩ずつ、焦らず確実に。自律性の高い看護師を目指します

入職1年目から、2年目、3年目へ。現場で実践力を高めながら、一歩ずつ着実に成長できます。

現場での学びを次のステージに繋げ、自律的な看護師を目指しましょう。

## [ 3年目看護師メッセージ ]



患者さんからも後輩からも頼られる  
看護師として成長する

外科病棟(2018年入職)  
河部 志保

1年目、先輩から受けたアドバイスで印象的だったのは「看護師は1人で7人の患者さんを担当するけど、1人の患者さんに看護師はあなたしかいない」という言葉。マイペースな私ですが、患者さんから気軽に声をかけてもらえるような雰囲気を身に付けることで、後輩たちからも自然と相談をしてもらえるような先輩になることを目指しています。

## [ 2年目看護師メッセージ ]

退院後の子どもたちの生活も見据えて  
ケアできる看護師に



小児科病棟  
(2019年入職)  
渡辺 柚佳里

小児科病棟には、長期入院している子どもたちがいます。入院生活が苦しい思い出だけにならないよう、前向きに治療に取り組めるよう配慮しています。子どもたちの気持ちを受け止め、保護者の方のお話も伺いながら、希望を叶えられるようになることが現在の目標。子どもたちの退院後の生活も含めて支えられる看護師を目指しています。

## PNS(パートナシップナーシングシステム)

当院では質の高い看護を提供することを目的に、PNS(パートナシップナーシングシステム)を採用しています。ペアを組む先輩看護師と後輩看護師は1年を通じて協力しあい、成果と責任を共有。新人は経験豊かな先輩から患者さんとの関わりかたや状況判断など、多くのことを学ぶことができます。

## [ 新人看護師の1日 ]

8:30 始業

病棟全体で検査や手術を受ける患者さんの情報を共有。  
その後、ペアを組む先輩と患者さんの状態を確認します。

9:00 ラウンド

先輩とペアで病棟をまわり、バイタルサインのチェック。新たに入院された患者さんには普段の生活環境や疑問点などを聴取します。

10:00 ケア

清潔ケアや検査・処置の介助などを行いつつ、患者さんとコミュニケーション。何気ない会話が、患者さんとの信頼関係を築きます。

12:00 休憩

先輩と患者さんの情報を再度共有してから、前半後半に分かれて休憩をとります。手作りのお弁当を持参する人もいれば、コンビニのお弁当を食べる人も。

14:00 検査、カンファレンス

午前中にできなかったケアや検査の介助のあとは、カンファレンス。医師や他の医療専門職者が集まり、患者さんのゴール設定について意見交換を行います。

16:30 申し送り

その日の業務を終え、準夜勤の看護師へ申し送り。先輩と一緒に伝えるべき情報をわかりやすく伝えます。

17:15 終業

おつかれさまでした！

## 初年度から将来のキャリアを見据えて、職員の向上心に応える教育体制

専門性の高い自律した看護師を育成する…それが当院看護部の教育方針。根拠に基づいた技術やコミュニケーション能力を身に付け、実践力を高めながら、目標に向かってキャリアアップできます。

[ 新人看護師の一年 ]

- 新規採用オリエンテーション（全職種合同）
  - 看護記録研修
  - 電子カルテシステム研修
  - 診察補助技術とフィジカルアセスメント
  - 採血・点滴準備・翼状針など静脈注射に関する技術
  - 輸血とフィジカルアセスメント（循環）
  - 呼吸管理技術とフィジカルアセスメント
  - 吸引・酸素吸入技術
  - 輸液管理・ME機器操作研修（シリンジポンプ・輸液ポンプ）  
輸液とフィジカルアセスメント（抗生剤・薬剤代謝）

5月

  - 日常生活援助とフィジカルアセスメント（移動技術・清潔ケア技術）
  - 日常生活援助とフィジカルアセスメント  
(排泄ケア技術・食事ケア技術・ケアスケジュール・タイムスケジュール)
  - フォローアップ研修（全職種合同）

6月

  - 夜勤前多重課題研修

7月

  - BLS研修

8月

  - 半期振り返り・リフレッシュ研修

9月

  - フォローアップ研修（全職種合同）

10月

  - フォローアップ研修（全職種合同）

11月

  - 機構の役割について理解する（施設認定、入院診療計画書、DPCなど）
  - 部署の先輩と事例検討を通して看護についてディスカッション
  - ラダーⅡ研修発表会に参加（エビデンスのある看護の実践）

12月

  - 一年の振り返り

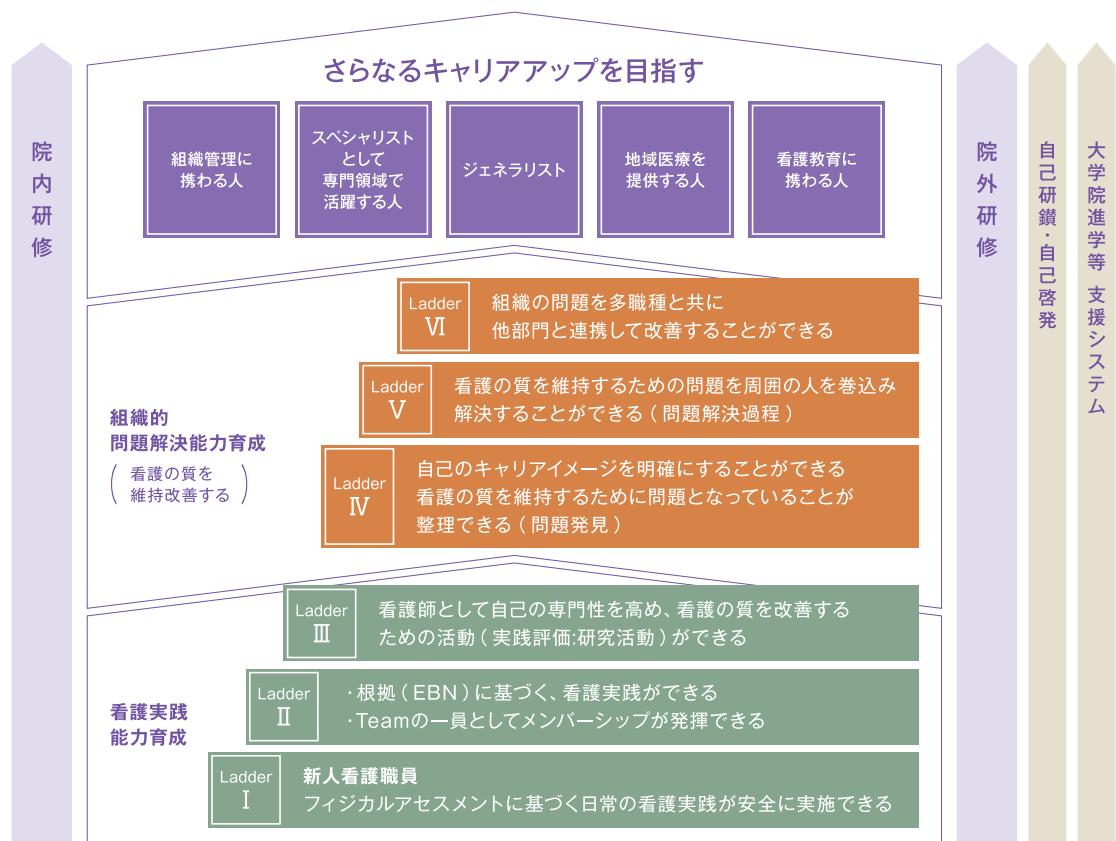
1月

2月

3月

京都市立病院 看護部キャリアラダー

看護を必要とするすべての場面で、適切な判断根拠に基づいて看護実践能力を発揮できる看護師を育成することが当看護部の教育方針。その教育方針に基づき、「京都市立病院 看護部キャリアラダー」を基盤とした看護専門職としての役割を発揮するために、全看護職員が自らの目標に向けた主体的な学習を支援する教育体制を整えています。キャリアラダーは6段階となっており、ラダーⅠ～Ⅲは臨床実践者としての能力の育成（対象：卒後1～5年）、ラダーⅣ～Ⅵは看護の質を組織的に高めることができる能力の育成を目指しています。



採血&ルート確保研修



フォローアップ研修



急変時対応研修

人々に寄り添い、地域を支える。

一人の看護師として、このまちにできることを

### 看護部理念

- 患者の権利を尊重し、安心できる心のこもった看護を提供します。
- 専門職として科学的で創造的な看護を目指します。
- 医師および他部門との信頼関係をもって協働します。

### 看護方針

1. 患者さんの権利・尊厳を重視する看護を実践する。
2. 科学的根拠に基づいた有効で適切な看護を実践する。
3. 安全性を重視し予測を持った看護を実践する。
4. 公平で効果的、効率的な看護を実践する。
5. 多職種と連携し専門性豊かな看護を実践する。
6. 看護職一人ひとりの成長を支援する教育を行う。

### 教育方針

看護を必要とする全ての場面で  
適切な判断根拠に基づき  
看護実践能力を発揮できる看護職員を育成します。



副院長兼看護部長  
半場 江利子

### 〔看護部長メッセージ〕

地域で暮らす人を看護師として支える

当院は明治15年より、この壬生の地で伝染病の治療施設として開設され、地域の方々のいのちと健康を守ってまいりました。当院は「市民のいのちと健康を守る」ことが理念として掲げられています。

我々はここに「患者」ではなく、「市民」とされている意味を大事にしています。それは、病院で治療を受けている患者としてではなく、地域で暮らしを営むひとであることを強く意識するためだと考えているからです。今は病院で治療をうけておられますが、その後、地域での生活に戻る父であり、母である、全てを含めたその人に向き合うこと。

そのことは「その人らしさ」そのものを大切にすることです。

「その人らしさ」を保つとは、人間としての尊厳が守られた状態を保つことであり、その人の生き方や価値観を大事にすることだと思います。認知症になっても、意識がなくなったとしても、他とは違う個人の独自性をもち、終始一貫している個人本来の姿を保てるよう援助すること。

それらを常に意識してプロとして看護を提供したいと思っています。



看護部 副師長  
(教育担当)  
平井 亮

### 〔教育担当者メッセージ〕

責任と自覚を持ち、自信を身に付け、  
自分なりの看護観をつかめるように

看護の仕事は、病院という現場で体験することしか学べないことが数多くあります。新卒5年目までは研修を受けながら、学んだことをいかにベッドサイドでのケアに結びつけていくかを学び、根拠を持ったアセスメントができるようになるまで指導。その後は後輩の指導・教育にあたりながら、組織として看護の質を高められる能力を育成していきます。経験を積んでいくことで仕事に責任と自覚を持ち、それを自信につなげながら、自分なりの看護観をつかめるようになることを目指します。初めは失敗を経験することもあるかと思いますが、それを今後の実践につなげていくことが大切。恐れることなく、成長を続けていきましょう。

## 京都市立病院機構理念

京都市立病院機構は

○市民のいのちと健康を守ります。

○患者中心の最適な医療を提供します。

○地域と一体となって健康長寿のまちづくりに貢献します。



## 京都市立病院の特色

京都市立病院機構理念を念頭に、質の高い医療サービスを提供し、市民のいのちと健康を守る自治体病院としての責任を全うしてまいります。

- 地域医療支援病院
- 災害拠点病院（地域災害医療センター）
- エイズ治療拠点病院
- 救急告示病院
- 骨髓採取・骨髓移植認定施設
- 日本医療機能評価機構認定病院（3rdG:Ver.2.0）
- 地域周産期母子医療センター（2次周産期医療）
- 地域がん診療連携拠点病院
- 第二種感染症指定医療機関
- 看護配置7対1以上
- 臓器提供施設

## 概要

名 称： 京都市立病院

開設年月日： 昭和40年12月1日

病床数： 548床（第二種感染症用を含む）

建物面積： 50,582m<sup>2</sup>

診療科目： 内科、呼吸器内科、消化器内科、腫瘍内科、循環器内科、腎臓内科、神経内科、血液内科、内分泌内科、糖尿病代謝内科、アレルギー科、感染症内科、精神科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、小児外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、臨床検査科、麻酔科、救急科、緩和ケア内科

関連施設 京都市立京北病院 京都市右京区京北下中町鳥谷3番地 TEL:075-854-0221 FAX:075-854-0825 <https://www.kch-org.jp/keihoku/>



# 京都市立病院

kyoto City Hospital

〒604-8845 京都府京都市中京区壬生東高田町1-2  
TEL: 075-311-5311(代) FAX: 075-321-6025(代)

<https://www.kch-org.jp/kango/>



看護部のイベント、採用情報を配信しています！



### JR京都駅からバスに乗り換え

- ・市バス 73、75号系統「市立病院前」下車すぐ
- ・京阪京都交通バス 21、21A、27号系統「市立病院前」下車すぐ
- ・京都バス 81、83系統「市立病院前」下車すぐ

### JR嵯峨野線「丹波口駅」から徒歩 西へ10分

阪急電鉄／京福電鉄「西院駅」から徒歩 南へ15分

### 地下鉄烏丸線「五条駅」からバスに乗り換え

- ・市バス 43、73、80号系統「市立病院前」下車すぐ

### 地下鉄東西線「西大路御池駅」からバスに乗り換え

- ・市バス 202、205号系統「西大路松原」または「西大路五条」下車徒歩3分
- ・市バス 75号系統「市立病院前」下車すぐ

